

関係各位

熊本県土地改良事業団体連合会
事務局長 河地 芳郎

広報誌「DAICHI（旧大地） Vol.80」におけるお詫び及び訂正

平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、このたび当会が発刊・配布いたしました広報誌「DAICHI（旧大地）Vol.80」5ページ掲載の「熊本県農地防災事業推進協議会・熊本県ため池協議会合同要請要望活動」記事におきまして、写真説明文中の議員名の表記に誤りがございました。

関係者の皆様には、多大なるご迷惑をおかけしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。

今後は、掲載内容の確認体制を一層強化し、再発防止に努めてまいります。

なお、本会ホームページに掲載しております当該広報誌データにつきましては、既に修正済みであることを申し添えます。

つきましては、誤りの箇所及び訂正内容を下記のとおりご報告申し上げます。

記

【訂正内容】

6月9日～10日
熊本県農地防災事業推進協議会・熊本県ため池協議会
合同要請要望活動

令和7年6月9日（月）～10日（火）にかけて、熊本県農地防災事業推進協議会・熊本県ため池協議会、農林水産省・防衛省及び関係国会議員等、関係各機関に対する合同要請・要望活動を実施しました。今回の要請・要望活動には河原田議員の会長である九牧市市長をはじめ、農地防災事業推進協議会副会長竹崎北町長、河原工業市長、ため池協議会副会長の早田市長など、両協議会役員12名が参加しました。原からは永田農務課長が、本会からは久保田常務理事が参加しました。

本要請・要望活動では、国土民生委員（当時）、防衛省 国土計画（農林水産部）、国土民生委員本部会 対策委員（当時）、内閣府内閣府国土情報推進室次長（当時）、農林水産省農林官房長（当時）、前農林振興局長（当時）、前山農林振興次長、金子衆議院議員、進藤参議院議員らと面談し、重要なため池、重要なため池、重要なため池等の現状や対策について、見解を交換し、十分な予算の確保及びため池特別法施行の期限の早期12年度末までにソフト対策及びハード対策を確実に実施するための予算確保等を求めました。



- ▲国土民生委員本部会へ要請の完了
- ▲防衛省 国土計画の要請活動
- ▲農林水産省農林官房長へ要請の完了
- ▲金子衆議院議員へ要請の完了
- ▲進藤参議院議員へ要請の完了
- ▲防衛省 国土情報推進室次長へ要請の完了
- ▲農林水産省農林官房長へ要請の完了



誤正 ▲金子衆議院議員へ要望書の手交
進藤参議院議員



誤正 ▲進藤参議院議員へ要望書の手交
金子衆議院議員

【訂正記事】

6 / 6
9 ~ 10

熊本県農地防災事業推進協議会・熊本県ため池協議会 合同要請要望活動

令和7年6月9日（月）～10日（火）にかけて、熊本県農地防災事業推進協議会・熊本県ため池協議会は、農林水産省・財務省及び関係国会議員等、関係各機関に対する合同要請・要望活動を実施しました。今回の要請・要望活動には両協議会の会長である元松宇土市長をはじめ、農地防災事業推進協議会副会長の竹崎芦北町長、藏原玉名市長、ため池協議会副会長の早田山鹿市長など、両協議会役員12名が参加しました。県からは永田農村振興局長が、本会からは久保田常務理事が参加しました。

本要請・要望活動では、自由民主党森山幹事長（当時）、財務省山川主計官（農林水産担当）、自由民主党坂本国会対策委員長（当時）、内閣官房丹羽国土強靱化推進室次長（当時）、農林水産省長井官房長（当時）、前島農村振興局長（当時）、青山農村振興局次長、金子衆議院議員、進藤参議院議員らと面談し、重要な排水機場、農業用ダム等の老朽化対策について、別枠予算を含めた十分な予算の確保及びため池特別措置法の期限の令和12年度末までにソフト対策及びハード対策を着実に実施するための予算確保等を求めました。



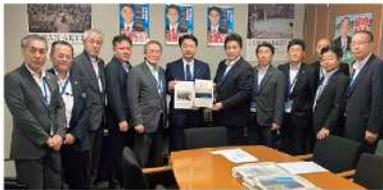
▲自由民主党 森山幹事長(当時)へ要望書の手交



▲財務省 山川主計官との面談状況



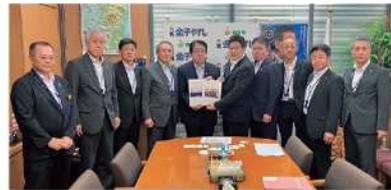
▲農林水産省 長井官房長(当時)へ要望書の手交



▲進藤参議院議員へ要望書の手交



▲内閣官房 丹羽国土強靱化推進室次長(当時)との面談状況



▲金子衆議院議員へ要望書の手交

このたびの件につきまして、重ねてお詫び申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上